

6 空港周辺の自然環境はどうなっているのかな？

自然環境の保全と再生の取り組み

静岡新聞 平成19年（2007年）9月7日掲載記事

赤坂池に隣接する緑豊かなビオトープ「牧之原市」

ビオトープではトンボの産卵が見られた＝牧之原市

命輝く静岡空港の森

二〇〇九年三月開港を目指し建設が進んでいる「富士山静岡空港」周辺で、自然環境との共生を目指してさまざまな取り組みが行われている。昔からの里山、里地の保全や「空港の森」整備が注目を集めている。

県版レッドデータブックで絶滅の恐れがあるとされた草木類、木

里山保全整備進む

本類など六十種以上、種類について、移植などの保護対策を実施した。県内では空港周辺を含めて数カ所しか確認されていないフジタイゲキをはじめ、ワレモコウ、ハンカイソウ、ミソハギなどが空港ビジターセンターで大切に育てられている。

フジタイゲキの生育環境に適した

希少植物のフジタイゲキの花

清楚（せいそ）なキキョウの花＝島田市の空港ビジターセンター

美しい赤坂池を見せる
赤坂池＝牧之原市

「レッドデータブック」とは…

絶滅の恐れがある
野生生物の種類と危険度を
まとめた本のことです

「静岡県版レッドデータブック」で絶滅危惧種を知ろう

静岡県版レッドデータブック

検索



貴重生物の保全

空港建設工事を始める前に生息状況の調査をして、生息に適した場所に移植したり、数の少ない動植物などは、増殖による保全も行いました。

貴重生物の工事前調査

千頭ヶ谷ビオトープに移植したタコノアシ

ボランティアによるゲンジボタルの放流

ゲンジボタル

森林環境のエコアップ

緩衝緑地として取得した空港周辺の森林や竹林を整備することにより、多様な動植物が生息できる豊かな里山環境の復元に努めています。

スギ人工林の整備

整備前

整備後

自然環境の整備

それぞれの動植物にあった生息環境を復元したり、新しく作ったりしました。また、赤坂池、千頭ヶ谷付近の谷戸田（谷地にある水気の多い湿田）を利用してビオトープを整備しました。

調整池下流河川

千頭ヶ谷ビオトープ

湧水を利用したカエル池の整備

ニホンアカガエル

オオタカの保護対策

空港を含む4,000haを保護対策の対象範囲とし、オオタカが安心してヒナを育て続けられるよう、巣を作ったり、エサをとったりできる環境の保全と整備を進めています。

オオタカ

空港建設地
空港を囲む周辺の4,000haが保護対策の対象範囲

もっと知りたい！
Q&A

Q.私たち中学生でも参加できる自然環境保護活動はあるのですか？

A.あります。NPO法人「榛原里やまの会」では、ビオトープの管理や貴重生物の保護の他、ホタルの観察会や正月飾り、ツル細工作りなど、中学生も参加できる自然とふれあう活動を行っています。

「榛原里やまの会」のホームページをチェックして参加してみよう!! <http://www.hai-satoyama.jp>